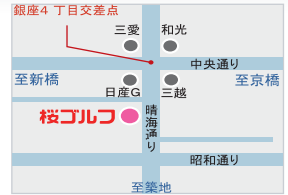


株式会社 桜ゴルフ
 東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
 (銀座4丁目交差点より1分)
 銀座本店 伊勢丹新宿店 そごう千葉店

【お問い合わせは】
 ☎ 0120-83-5021
 本社営業部 03-3572-8511
 伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<http://www.sakuragolf.co.jp>



草分けとしての使命をー
 佐川 八重子

今年前半は
 平均1.7%の値上がり



今年前半(1~6月)の会員権相場は順調に推移しました。年明け早々の1月に急伸した関東圏の平均相場は、5月に一服しましたがほぼ強含みの推移をたどり、半年間で1.7%の値上がりとなりました。
 処分を上回る旺盛な買い注文(買いが売りの1.13倍)に支えられ、昨年1年間の値上がり幅(0.9%)を大きく超える状態になっています。
 とくに目立ったのが、昨年から続く好業績を背景とする法人の活発な買いです。このため、名門・準名門コースが買い需要を集めて高価価格帯が伸び、全

18年1~6月の価格帯別相場推移

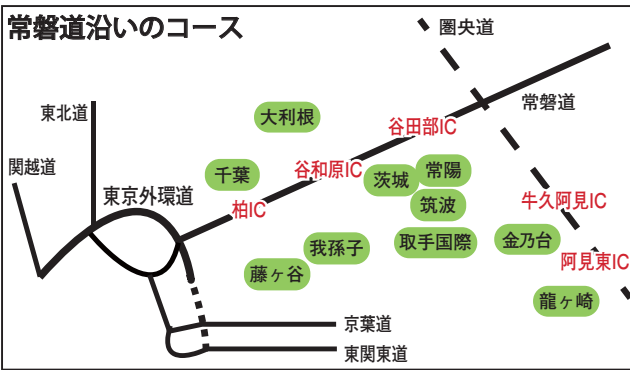
※名変料等除く(%)

価格帯/期間	17年	18年						年初比
	1年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
1000万円以上	3.9	1.3	0.4	0.1	0.3	▲0.1	0.2	2.4
500万円以上	▲3.3	0.7	0.0	▲0.2	1.0	0.4	0.4	2.2
300万円以上	5.8	1.1	2.5	2.9	▲1.5	1.5	2.0	8.9
150万円以上	▲2.4	1.1	▲1.7	0.1	▲0.1	▲1.0	▲0.9	▲2.5
70万円以上	0.1	▲0.5	▲0.9	▲0.3	▲0.6	▲1.4	0.3	▲3.3
70万円未満	▲1.0	1.0	1.3	0.7	0.1	▲0.1	0.1	3.2
平均	0.9	0.9	0.2	0.3	0.2	▲0.1	0.2	1.7

※6月末平均価格92万円(関東圏547コース)

も名変料を除いて300万円以上の価格帯は個人のエグゼクティブ層の買いも加わり8.9%もの値上がりとなりました。
 一方、個人の予算は70~80万円(名変料含め150万円)が上限でそれを上回る70万円以上と150万円以上の価格帯は年会費負担から処分もあつて伸び悩みましたが、予算内に収まる70万円未満は根強い買いがあり安定した伸びを示しました。
 直近では6月下旬の株主総会を終えた法人の買いが再開しており、当面上位価格帯の牽引で安定した相場展開が予想されます。

常磐道沿いのコース



外環道東側の開通で常磐道沿線コースに注目
 6月2日に東京外環自動車道の東側(三郷南IC~高谷JCT間15.5km)が開通しました。
 これにより、東京の城東エリアや千葉県の東京近接エリアから常磐道へは、混雑や渋滞が目立つ首都高を経ずに短時間でアクセスできることから、利便性が大きく向上しました。
 このため、常磐道沿いの千葉県、茨城県のコースが脚光を浴びています。この地域には歴史が古く健全経営の名門・優良コースが点在しています。

人気高まる「常磐道」沿いの主な優良コース

含む名変諸費用

コース名	H数	総額	特徴	年会費	最寄りIC	開場
我孫子	18林	1,010 (400)	個人中心の歴史ある名門クラブ。アメリカクラシックにコース改造	18.0	柏 12km	S6
千葉	63林	880 (450)	トーナメントコースの梅郷や野田、川間の3つを持つ大型コース	8.0	" 7km(梅郷)	S34
藤ヶ谷	18林	420 (200)	京成電鉄グループ。会員数少なく予約が取りやすい	7.0	" 13km	S40
大利根	36林	870 (400)	東京ガスGを中心に創設。井上誠一設計の本格的な林間コース	6.0	谷田部 12km	S35
常陽	18林	155 (100)	松林に囲まれたフラットな林間コース。年会費無料が魅力	0	" 11km	S36
茨城	36林	640 (100)	安達建設グループ。豊かな松林に囲まれた林間コース	4.0	" 8km	S37
筑波	18林	520 (100)	証券・金融業界中心に発足。広々とした林間コース	7.0	谷田部 4km	S34
取手国際	36林	350 (300)	林間の36ホール。H26年東コースを青木功監修で改造	6.0	" 5km	S33
金乃台	18林	100 (50)	日新製鋼グループ。少数会員制のコースで堅実経営	5.0	牛久阿見 4km	S39
龍ヶ崎	18林	440 (230)	井上誠一設計の関東屈指の難コース。松林が水墨画のように美しい	10.0	阿見東 6km	S33

価格は万円 総額内の()は名変諸費用 () 株主会員制

(18年7月第1週現在)

中でも柏ICではコース改造で話題の我孫子、3コースを擁する千葉、京成系の藤ヶ谷、谷和原ICでは井上誠一作品の大利根、茨城、谷田部ICでは筑波、もう少し先の圏央道・阿見東ICでは龍ヶ崎などが注目されています。
 常磐道沿いの株主会員制の名門やチャンピオンコースを求める好機といえるでしょう。